

地域のみなさんと医療を結ぶ。阿蘇立野病院のコミュニケーションマガジン

春号

Spring No.

たての日和

No. 22

医療法人社団 順幸会
阿蘇立野病院 発行

TATENO BIYORI



Column
22

「平常心」

いつか来る有事に対しての
普段の心掛けと準備とは

「平常心」

有事に対しての心掛けと準備

令和6年元旦の能登半島地震で被災された皆様に衷心よりお見舞いを申し上げますとともに被災地支援を行ったあるいは行っている全ての医療、福祉関係の皆様にご敬意を表します。

さて季節は春、希望を胸に抱いて入職された皆様に感謝を申し上げるとともに大いに歓迎いたします。

去る2月22日より京都で開催された日本災害医学会に参加しました。熊本地震より復興した病院として、「病院避難」についてパネルディスカッションでの発表要請があったためです。発災直後の被災病院の対応に関する議論点は、熊本地震以降、病院避難よりむしろ病院籠城つまりライフライン支援が中心となっています。なぜならば、多数の入院患者の受入先施設調整の困難さ、多大なる搬送あるいは医療資源の必要性あるいは移動による入院患者の危険性など考慮すれば、可及的に病院避難を回避するための対策を優先すべきだからです。さらに興味深かったのは、富士山噴火についてのパネルディスカッションでした。医療従事者のみならず学者、行政を混えて議論が行われました。阿蘇山の麓で生活しながら知らないことが多く猛省しました。すなわち、火山灰が1mm積もると乗用車は滑り容易に渋滞が発生すること、50mmで電車は不通、2mmで断水、3mmで停電(通信手段ダウン)だそうです。ちな



順幸会理事長 上村 晋一

みに富士山が噴火すれば静岡県、山梨県においては約50cmつまり500mm積もると予想されるそうです。さらに灰は、偏西風に乗って関東に数cm積もることでした。議論は自ずと噴火前避難に論点が進み、医療マターというより行政マターに移っていきました。実は学者の間では南海トラフ地震と富士山噴火は連動するといわれています。昨年3月放映のNHKスペシャル「南海トラフ巨大地震」では、短期的な避難のみならず「半割れ」地震が生じた際の長期受援体制の覚悟がリアルに描かれていて、是非見て頂きたいドラマです。

昔の「尋常小学校」の「尋常」という単語はご存知でしょうか。尋常というのは、当たり前、あるいは平常という意味で、如何なる場面に遭遇しても平常心を失わないという教育目標がその名に込められていると聞いたことがあります。

必ず来る南海トラフ地震、阿蘇山大噴火などの有事に対して、改めて叡智を結集し対処しなければならぬことを強く感じた第29回日本災害医学会でした。同時に昔の武士のように「いざ尋常に勝負」といった平常心を強く意識しながら普段の心掛け、準備を行う大切さを今更ながら痛感しています。

本のご紹介【復興の軌跡】

熊本地震から8年が経ちます。病院が被災し休院せざるを得ない状況から今こうして病院を継続することができているのは言うまでもなく、病院に携わる皆様の温かい励ましとお力添えがあったからこそです。そこで「復興の軌跡」と題した1冊の本に思いを綴りました。

まず、感謝の気持ちを皆様にお伝えしたく、また地震発生から病院再開への奮闘の中で「人間の持つ底力」を知りました。そして、さまざまな困難に遭遇している方々にそれをお伝えする事で勇気に繋がり一燈照隅となればと思いました。手作りのしおりは、職員が描いたものです。



TATENO INFORMATION

新入職員
ご紹介
New staff

地域の皆さま、これからどうぞよろしくお願いいたします！ /



理学療法士
永井 輝星



理学療法士
去川 愛梨



理学療法士
廣重 伊吹



理学療法士
高野 滋穂



看護師
藤本 空良



保育士
古澤 希海

防災訓練
emergency drill

熊本地震の経験
学びとこれから

【防災訓練】

年始に発生した能登半島地震を想定しての防災訓練を令和6年2月に実施しました。震度5強の前震が発生し、その4分後に震度7の本震が起こった状況下で、初動から本部立上げ、そして病院を避難するのか、籠城するのかの判断を下すまでの一連の流れを確認しながらの訓練でした。

私達は、熊本地震の経験から、たくさんの反省と学びを得ています。それらの経験を基に、年々良い形で訓練ができているのではないかと考えております。

南阿蘇村(地域)の皆様に安心して当院を利用していただけられるように、そして有事にはより多くの方々へのお力添えができるように、これからも日々準備を進めていきたいと考えております。



TATENO INFORMATION

スタッフ紹介
staff introductionネパールから
新しいスタッフ

【スタッフ紹介】

ネパールで介護士専門学校を卒業し、当院スタッフとして令和6年1月に入職したお二人、プザさんとステイチャさんです。日本語でのコミュニケーション力も高く、日々上達しています。現在、病棟介護士として積極的にお仕事に頑張っています。

『阿蘇立野病院の職員として早くなれるよう頑張ります。』



阿蘇立野病院の理念



「ぬくもりと安心の医療」

ぬくもりと安心の職場であり、ぬくもりと安心の医療を提供できる病院であることを目指します。



基本方針

- ・私達は、親しみと温かい身内の心で患者さんをお迎えします。
- ・私達は、患者さん中心の誰からも信頼される病院をめざします。
- ・私達は、自己研鑽に務め、チーム医療を充実し、質の高い医療を提供します。
- ・私達は、医療・福祉を通じて、地域の文化・環境を大切にします。
- ・私達は、生活を共に考え、病気の治療ばかりでなく、予防にも努めます。

患者さんの権利

- ・人間として尊重される権利
- ・知る権利と自己決定の権利
- ・プライバシーを尊重される権利
- ・病気やその治療方法及び保険や予防について学習する権利
- ・医療従事者とともに医療改善の活動に参加する権利

私たちは、患者さんの権利を尊重する医療の実現に努めます。

病院機能

- 一般外来 ● 救急外来
- 人工透析 17床
- 入院 52床 (地域包括 52床)
- 院内リハビリ (PT・OT・ST) ● 通所リハビリ
- 訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ
- 健診センター ● 自由診療

入院受入れ可能項目

- レスプレーター管理 (要相談) ● 気管切開
- 経管栄養 (鼻腔栄養・胃ろう栄養)
- がん疼痛麻薬使用 ● 終末期看取り
- リハビリ PT・OT・ST ● レスパイト入院 (要相談)
- 認知症 (要相談) ● 透析 ● 転院継続療養
- 当日入院・土日転院受入れ相談・Key不在の方受入れ



阿蘇立野病院

ASO TATENO Hospital

阿蘇南部地域在宅医療サポートセンター

〒869-1401 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字立野 185-1

☎ 0967-68-0111

阿蘇立野病院

検索



WEB



Insta